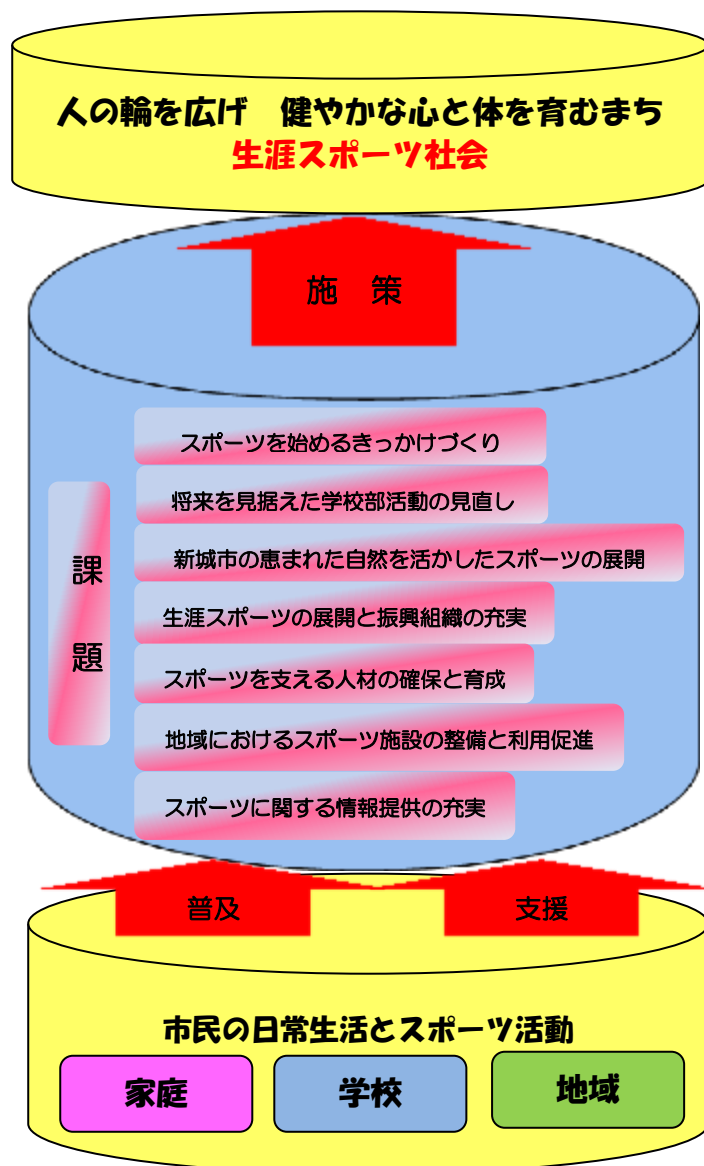


VI 基本方針

スポーツに親しむことは、体を動かす機会の増加につながり、市民の体力向上や健康の保持増進につながります。また、スポーツに親しむことによって、ストレスが解消され、ゆとりや生きがいのある生活が期待できます。そして、様々な人々との交流により親睦が生まれ、仲間づくりや地域コミュニティの活力にもつながります。このように、スポーツの盛んなまちとしての気運の高まりは、スポーツ人口の増加につながっていくと考えます。

スポーツの関わり方は多様であり、身体活動として行っている人、競技力の向上を目指している人はもちろん、スポーツを「観る」という関わり方からスポーツに関心をもち、スポーツを始めるきっかけづくりにもつながります。また、本市では、各種競技スポーツ指導者をはじめ、スポーツする子供を見守る「見守るスポーツ」や施設や設備の充実に寄与する「協力するスポーツ」として幅広いスポーツ活動を支えているスポーツサポーターがいます。スポーツを通じて多くの人と関わりをもち、それぞれの人に対応したスポーツ振興を図ることが大切だと考えています。

そこで、この計画の基本方針を、「人の輪を広げ 健やかな心と体を育むまち」とし、家庭や学校、地域が「いつでも」、「どこでも」、「誰とでも」日常生活においてスポーツ活動を楽しむことができる環境を整えることにより、市民が生きがいをもって健康に暮らすことができる生涯スポーツ社会へとつなげていきます。



VII 基本目標

Vで整理した7つの課題をもとに、14の基本目標を設定します。

スポーツ振興上の課題	基本目標
1 スポーツを始めるきっかけづくり	1 スポーツを始めるきっかけづくりプログラムの提供 2 幼児期からの体を動かす習慣の定着
2 将来を見据えた学校部活動の見直し	3 学校部活動の再構築
3 新城市の恵まれた自然を活かしたスポーツの展開	4 新城市の自然を活かしたスポーツの振興
4 生涯スポーツの展開と振興組織の充実	5 高齢者の健康づくりの振興 6 障がい者のスポーツの振興 7 競技スポーツの振興 8 地域の実情に応じた総合型地域スポーツクラブのあり方の検討
5 スポーツを支える人材の確保と育成	9 スポーツを支える人材の確保と育成の推進 10 スポーツリーダーバンクの整備
6 地域におけるスポーツ施設の整備と利用促進	11 学校体育施設と既存のスポーツ施設の改修と整備 12 総合スポーツの拠点となる体育館に関する調査研究
7 スポーツに関する情報提供の充実	13 スポーツ情報の発信方法の工夫 14 スポーツ情報の内容の充実

VIII 重点目標

振興計画は、概ね 10 年間の実施計画としての性格を有するもので、その実効性を確保するために、前項で整理した基本目標を「スポーツ機会の充実」、「スポーツを支える人材の確保と育成」、「スポーツ施設の整備」、「情報システムの充実」の 4 項目に分類しました。

さらに、各項の中の基本目標を達成するため、重点目標として掲げました。重点目標を達成するため、いくつかの施策を提案し、その実現を目指します。

1 スポーツ機会の充実

<基本目標>

- (1) スポーツを始めるきっかけづくりプログラムの提供
- (2) 幼児期からの体を動かす習慣の定着
- (3) 学校部活動の再構築
- (4) 新都市の自然を活かしたスポーツの振興
- (5) 高齢者の健康づくりの振興
- (6) 障がい者のスポーツの振興
- (7) 競技スポーツの振興
- (8) 地域の実情に応じた総合型地域スポーツクラブのあり方の検討

重点目標

- 成人の週 1 回以上のスポーツ実施率を 27.4% (3.5 人に 1 人) から 33.3% (3 人に 1 人) となることを目指し、誰でも気軽にスポーツに親しむことができるよう推進します。
- 幼児期からの体を動かす習慣を定着させ、生涯にわたって運動を続けるための基盤づくりに努めます。
- 地域と連携して学校部活動の再構築を図り、子供が幅広くスポーツに携われるようにします。

2 スポーツを支える人材の確保と育成

<基本目標>

- (1) スポーツを支える人材の確保と育成の推進
- (2) スポーツリーダーバンクの整備

重点目標

- スポーツサポーターの確保と育成を進めます。
- スポーツサポーターの活動機会の充実を図ります。

3 スポーツ施設の整備

<基本目標>

- (1) 学校体育施設と既存のスポーツ施設の改修と整備
- (2) 総合スポーツの拠点となる体育館に関する調査研究

重点目標

- 既存の体育施設の整備をするとともに利用促進を図ります。
- 総合スポーツの拠点となる体育館に関する調査研究を進めます。

4 情報システムの充実

<基本目標>

- (1) スポーツ情報の発信方法の工夫
- (2) スポーツ情報の内容の充実

重点目標

- スポーツ情報の発信方法を工夫します。
- スポーツ情報の内容の充実を図ります。

Ⅸ 施策の展開

1 スポーツ機会の充実

重点目標

- 成人の週1回以上のスポーツ実施率を27.4%(3.5人に1人)から33.3%(3人に1人)となることを目指し、誰でも気軽にスポーツに親しむことができるよう推進します。
- 幼児期からの体を動かす習慣を定着させ、生涯にわたって運動を続けるための基盤づくりに努めます。
- 地域と連携して学校部活動の再構築を図り、子供が幅広くスポーツに携われるようにします。

【施策1】

◆ スポーツを始めるきっかけづくりプログラムの提供

現在スポーツをなかなか行うことができない人たちが、気軽にスポーツを始めるきっかけとなるようなプログラムを提供します。健康づくりや体力づくりのためのトレーニングプログラムや体力測定などのテストプログラム、スポーツを学ぶ学習プログラム、スポーツを楽しむレクリエーションプログラムなどの推進に取り組みます。

また、スポーツを「観る」という関わり方は、スポーツに苦手意識をもつ人でも気軽に行うことができ、スポーツを始めるきっかけづくりにもつながります。さらに、高いレベルでの試合や多くの参加者が集まる大会は、既にスポーツを行っている人の関心や意欲を高める効果が期待できるため、それらの機会の充実に努めていきます。

そして、これらの施策は、本市健康課の「しんしろ健康づくり21計画(第2次)」で目指す運動習慣者(1回30分以上かつ週2回以上の運動を1年以上実施している者)の増加に寄与することにもつながります。

【主な取り組みの方向】

- 気軽に楽しみながら取り組むことができるスポーツについて学べる機会の提供
- 健康づくりや体力づくりの一貫として、市民が気軽に始めることができるスポーツプログラムの提供
- 気軽に体力を測定できる機会の提供
- 市民が広く楽しむことができる試合や大会を「観る」機会の充実

[施策2]

◆ 幼児期からの体を動かす習慣の定着

幼児期に身体活動を伴う遊びや体を動かす習慣を通して健康な心身を保つことは、高齢になっても健康であり続けることにつながります。

また、幼児期から体を動かす習慣の定着を図ることは、運動する楽しさや喜びを感じることができるようになるだけでなく、早寝早起きなどをはじめとした基本的な生活習慣を身につけることにもつながります。そのために、こども園や児童クラブ等に働きかけをし、意図的に身体活動を伴う遊びや体を動かすプログラムを取り入れたり、遊具等を活用して運動に親しむことができるようにしたりすることで、生涯にわたって運動を続けるための基盤づくりに力を入れていきます。

【主な取り組みの方向】

- こども園や児童クラブへ向けた子供達が意欲的に体を動かすためのプログラムの提供
- 遊具等や遊び場の有効活用の推進と整備

[施策3]

◆ 学校部活動の再構築

近年、市内6中学校において部員数の減少は顕著なものとなっています。また、スポーツの多様化による選択肢の増加も伴い、特にチームスポーツの部の維持に苦慮している学校は少なくありません。子供にとって、ともに活動する仲間が多いことは、技能の向上やコミュニケーション能力を高めるうえでも大切な要素となります。また、子供が生涯にわたってスポーツを愛好し続けるために、少しでも多くの種目を経験できる機会の確保も必要になります。

こうしたことから学校部活動の編成や学校卒あるいは中小学校体育連盟との関わりを検討する必要があります。そして、子供の実態や希望をもとに、学校と地域や各種のスポーツ関係団体と連携し、学校部活動の見直しを図ります。また、それに伴う指導者の問題や輸送を含めた財政的補助についても検討を重ね、子供がスポーツを行う上で魅力ある学校部活動を再構築していきます。

【主な取り組みの方向】

- 学校部活動の編成や学校卒、中小学校体育連盟との関わりの検討
- 学校と地域や各種のスポーツ関係団体と連携した部活動の再構築と子供がスポーツを幅広く行うことができる体制づくり

【施策4】

◆ 新城市の自然を活かしたスポーツの振興

本市は、広大な森林や鳳来寺山に象徴される多くの山々、清らかに流れゆく豊川など豊かな自然に恵まれ、美しい景観を有しており、県内でも有数のアウトドアスポーツ活動に適した地域です。

近年では、フリークライミングやカヌー、マウンテンバイク、サイクリング、ウォーキング、トレイルランといったアウトドアスポーツを楽しむ人が増えています。また、自然とのふれあいを求めて他市からも多くの人を訪れ、市の活性化及び魅力ある地域づくりに大きく貢献しています。

市民をはじめとした多くの人々が、新城市の特色を活かした自然に親しみ、参加できるよう努めていくとともに、観光資源や行事と連動し、自然を活用するスポーツを体験したくなるような工夫にも力を注いでいきます。

また、艇庫などの施設の活用の促進や、大会・教室の開催などの普及に努めていきます。

【主な取り組みの方向】

- アウトドアスポーツへの市民参加の促進と、大会の開催や教室の開催などの普及
- 自然環境を保全し、アウトドアスポーツを安全に楽しめる環境の整備

【施策5】

◆ 高齢者の健康づくりの振興

スポーツに取り組むことは、健康・体力づくりだけでなく、高齢者の生きがいづくりにおいても有効な手段となります。また、生涯を通じて明るく豊かで活力のある健

康的な生活を送ることは、すべての市民の願いでもあります。いつでも、誰でもスポーツ活動に参加できるように、福祉・健康部門と連携を図り、介護予防の視点からも運動の必要性を啓発していきます。そして、高齢者が元気に生き生きと暮らしていくことができるよう年齢や体力に応じたスポーツプログラムの作成などに努めるとともに、高齢者の自主的なスポーツ活動の支援を行い、スポーツの定着を図ります。

【主な取り組みの方向】

- 高齢者の健康づくりや介護予防のための関係機関と連携を図ったスポーツプログラムの作成
- 高齢者が利用しやすいスポーツ施設の整備
- 高齢者の体力の増強を目的としたスポーツ大会の開催によるスポーツへの意識の向上
- 高齢者の参加形態に応じた自主的なスポーツ活動の支援

【施策6】

◆ 障がい者のスポーツの振興

障がい者にとってのスポーツは、社会参加の促進や自立支援の推進による社会活動への自信の回復、積極的に豊かな生活など、障がい者の生きがいづくりをはじめ、障がい者の活動に対する社会の認知度の増大への効果が期待できます。

高齢者の健康づくり同様、福祉・健康部門と連携を図り、障がいの有無や年齢・性別にかかわらず、気軽に参加できるような環境整備及びスポーツ大会等の開催に取り組めます。

また、障がいの多様性を理解し、障がい者の自主的なスポーツ活動の支援を行い、スポーツの定着を図ります。

【主な取り組みの方向】

- 障がい者が利用しやすいスポーツ施設の整備
- 障がい者の交流などを目的としたスポーツ大会の開催による、スポーツへの意識の向上
- 障がい者の参加形態に応じた自主的なスポーツ活動の支援

[施策7]

◆ 競技スポーツの振興

本市出身の選手やチームが全国大会などで活躍したり、日本代表として国際大会に参加したりすることは、市にとっても誇りであり、スポーツへの意欲・関心をより高めることとなります。

全国大会などで優秀な成績を収めた本市または本市出身の選手・団体に対する表彰の実施や、その活躍のPRを行い、競技者の意欲向上を図ります。また、本市出身や本市ゆかりのトップアスリート等による指導機会の設定など、各競技団体と連携をとりながら積極的に取り組み、競技者人口の拡大や競技力の向上につなげていきます。

【主な取り組みの方向】

- 全国大会等で優秀な成績を収めた選手や団体に対しての表彰
- 広報紙などによる地元選手や団体の活躍の広報及び市長表敬訪問の実施
- 本市と関わりのあるトップアスリートやスポーツ関係者による指導機会の設定

[施策8]

◆ 地域の実情に応じた総合型地域スポーツクラブのあり方の検討

現在本市の総合型地域スポーツクラブの活動状況は、最盛期と比べると縮小傾向にあります。

市民が身近な場所で、多様なスポーツ種目を楽しめ、地域の誰もが参加できる総合型地域スポーツクラブとなるよう、中学校区の範囲での総合型地域スポーツクラブのあり方を検討し、地域のスポーツ活動の活性化及びスポーツを通じたコミュニティの形成に取り組めます。

【主な取り組みの方向】

- 地域の実情に応じた総合型地域スポーツクラブのあり方の検討
- 総合型地域スポーツクラブの効果や認知度をさらに高めるための工夫

2 スポーツを支える人材の確保と育成

重点目標

- スポーツサポーターの確保と育成を進めます。
- スポーツサポーターの活動機会の充実を図ります。

【施策1】

◆ スポーツを支える人材の確保と育成の推進

市民のニーズが多様化する中で、各種競技スポーツ指導者をはじめ、クラブ運営責任者やスポーツボランティアなど、市民のスポーツ活動を支える人材であるスポーツサポーターが注目されています。

各種競技スポーツ指導者については高齢化や人材不足が叫ばれており、喫緊の課題となっています。

また、スポーツする子供を見守る「見守るスポーツ」や施設や設備の充実に寄与する「協力するスポーツ」として、幅広いスポーツ活動を支え、自発的に活動するクラブ運営責任者やスポーツボランティアなどの人材は、本市のスポーツ活動の質を高めるため、その支援は重要な施策となります。スポーツサポーターの確保と育成機会の充実を図り、主体的に活躍できる支援ができるよう努めていきます。

【主な取り組みの方向】

- スポーツ推進委員や各種競技スポーツ指導者を支援する人材の育成
- 市民のスポーツ活動を支えるスポーツサポーターの支援
- 研修会などの開催によるスポーツ推進委員や各種競技スポーツ指導者の資質の向上

【施策2】

◆ スポーツリーダーバンクの整備

地域でのスポーツ活動の活性化を目的に「スポーツリーダーバンク」が設置されましたが、現在は、その存在や趣旨が広く市民に知られることが少なかったため、登録者数や活動は十分ではありません。

今後は、スポーツリーダーバンクを整備し、その拡充と利用促進を図るために、

地域で生涯スポーツなどを指導するスポーツ指導者から各種競技スポーツ指導者まで、多様なスポーツニーズに応じた指導者を確保し、その活動を支援していきます。そして、小中学校の部活動の外部指導者を含めた地域スポーツ活動などにスポーツリーダーが積極的に参加できる機会をつくっていきます。

また、スポーツリーダーバンクについて広く市民に認知され、活用が広がるよう情報提供に努めるとともに、報酬等の予算的措置についても検討していきます。

【主な取り組みの方向】

- スポーツリーダーバンクの整備による指導者の確保と活動の支援
- スポーツリーダーバンクの趣旨や登録状況、活動実績、成果などの情報提供
- スポーツリーダーへの報酬等の予算的措置の検討



【スポーツ推進委員実技研修会】

3 スポーツ施設の整備

重点目標

- 既存の体育施設の整備をするとともに利用促進を図ります。
- 総合スポーツの拠点となる体育館に関する調査研究を進めます。

【施策1】

◆ 学校体育施設と既存のスポーツ施設の改修と整備

最近では、フットサルやスリーオンスリー、ストリートダンスなど若者を中心に広い場所をとらずに気軽にスポーツに取り組む姿が見受けられます。本市では、既存のスポーツ施設の種類や地域別の配置、市民ニーズなどを勘案して計画的にスポーツ施設の整備と配置の検討を行います。また、老朽化した施設や設備の点検や改修など、市民が安全かつ快適に利用できるスポーツ施設の整備と充実を図ります。

さらに、スポーツ施設の効果的な管理や運営方法を検討し、市民が利用しやすい仕組みづくりを通して施設利用を促進します。さらに、学校体育施設開放を促進し、身近にスポーツができる設備の充実を図ります。

【主な取り組みの方向】

- 学校体育施設や既存のスポーツ施設の種類、地域別の配置、市民ニーズなどを勘案した計画的なスポーツ施設の整備と配置の検討
- スポーツ施設の予約システムの充実と利便性を高める施設利用の促進
- 学校体育施設開放の促進と身近にスポーツができる設備の充実

【施策2】

◆ 総合スポーツの拠点となる体育館に関する調査研究

体育館は、意識調査の結果をみても建設の要望の高い施設ではありますが、規模や建設費、維持管理費の面など課題は山積しています。今後調査研究を進めていきます。

【主な取り組みの方向】

- 他市の体育館の視察をはじめとした体育館建設に関する調査研究の促進

4 情報システムの充実

重点目標

- スポーツ情報の発信方法を工夫します。
- スポーツ情報の内容の充実を図ります。

【施策1】

◆ スポーツ情報の発信方法の工夫

市が主催するスポーツイベント、行事及びスポーツ教室などをはじめとした、スポーツ振興に関わる様々な情報を、市の広報紙やチラシ、ウェブサイトなど多様な情報媒体を利用し、わかりやすく市民に提供します。

また、スポーツの意義や効果のPR、地元選手や団体の活躍の紹介など、市民がスポーツに関心を持ち、楽しめるよう様々な情報を提供することで、スポーツ活動の啓発に取り組みます。

【主な取り組みの方向】

- 市のスポーツ事業に関して、多様な情報媒体を利用した市民への情報提供の充実
- スポーツ活動の啓発による市民のスポーツ実施率向上の推進

【施策2】

◆ スポーツ情報の内容の充実

スポーツ情報の提供は、本市のスポーツ振興において重要な役割を担っています。スポーツに主体的に取り組むために必要な情報は、スポーツ施設の利用情報をはじめ、スポーツイベントやプログラムなどの開催情報など多岐にわたります。市民の誰もがいつでも簡単に情報を手に入れることができるよう、インターネットなどの多様な手段や情報内容の充実が求められています。

そこで、スポーツ施設の利用状況などの情報を充実します。

【主な取り組みの方向】

- スポーツ施設の利用方法や料金など、スポーツ施設に関する情報内容の充実
- 公共スポーツ施設の予約システムの構築

X 年次計画

年次計画は、振興計画のタイムスケジュールとして活用し、各施策の年次計画を明記することで、その実現性の確保を図ります。



【新城マラソン】